

各 位

フィデアホールディングス株式会社
株式会社 荘内銀行
株式会社 北都銀行

平成 29 年 3 月期（平成 28 年度）第 3 四半期 決算概要について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：田尾 祐一、以下「フィデアHD」）は、平成 29 年 3 月期（平成 28 年度）第 3 四半期連結業績等の概要と、株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：上野 雅史、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：斉藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績等につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. フィデアHD

(1) 平成 29 年 3 月期第 3 四半期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）連結業績

市場金利の低下や金融市場の変動を背景に、貸出金利息や有価証券関係損益が減少したことなどから、経常収益は前年同期比 37 億 1 百万円（8.7%）減少し 385 億 85 百万円、経常利益は前年同期比 63 億 24 百万円（53.9%）減少し 53 億 93 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比 38 億 41 百万円（45.9%）減少し 45 億 26 百万円。

譲渡性預金を含む預金等残高は、インターネット支店において個人預金が減少したことなどから前年同期末比 451 億円（1.6%）減少し 2 兆 6,305 億円。貸出金残高は、個人ローンを中心に前年同期末比 119 億円（0.6%）増加し 1 兆 7,737 億円。

		番号	フィデアHD	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
【連結】	損 益	経常収益	(1) 38,585 百万円	42,286 百万円	△ 3,701 百万円	△ 8.7 %
		業務純益	(2) 5,719 百万円	10,667 百万円	△ 4,948 百万円	△ 46.3 %
		コア業務純益*	(3) 5,194 百万円	9,150 百万円	△ 3,955 百万円	△ 43.2 %
		経常利益	(4) 5,393 百万円	11,718 百万円	△ 6,324 百万円	△ 53.9 %
		親会社株主に帰属する四半期純利益	(5) 4,526 百万円	8,367 百万円	△ 3,841 百万円	△ 45.9 %
	主要勘定残高 (末 残)	総資産	(6) 29,520 億円	29,860 億円	△ 340 億円	△ 1.1 %
		預金等(譲渡性預金を含む)	(7) 26,305 億円	26,756 億円	△ 451 億円	△ 1.6 %
		貸出金	(8) 17,737 億円	17,618 億円	119 億円	0.6 %
		有価証券	(9) 9,772 億円	10,375 億円	△ 603 億円	△ 5.8 %
	自己資本比率	連結自己資本比率(国内基準)	(10) 9.68 %	9.76 %	△ 0.08 %	
【合算】	不 良 債 権	金融再生法開示債権額	(11) 38,944 百万円	40,282 百万円	△ 1,337 百万円	△ 3.3 %
		総与信に占める割合	(12) 2.13 %	2.22 %	△ 0.09 %	

*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額 (以下、同様。)

(2) 平成 29 年 3 月期（平成 28 年度）業績予想

平成 29 年 3 月期第 3 四半期のフィデアHD連結の純利益および荘内銀行単体の経常利益、四半期純利益が平成 28 年 5 月 11 日に公表した通期業績予想を上回っておりますが、国内外の経済情勢や金融市場の動向を見極める必要があることから、現時点において業績予想の変更はございません。

H29/3期	番号	フィデアHD (連結)	ご参考 H29/3期	荘内銀行 (単体)	北都銀行 (単体)
経 常 利 益	(13)	5,600 百万円	経 常 利 益	2,800 百万円	2,500 百万円
親会社株主に帰属 する当期純利益	(14)	4,100 百万円	当 期 純 利 益	2,000 百万円	2,000 百万円

(次ページへ)

2. 荘内銀行

平成 29 年 3 月期第 3 四半期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）単体業績

貸出金利息や有価証券関係損益が減少したことなどから、経常収益は前年同期比 10 億 67 百万円減少し 196 億 46 百万円。経常利益は前年同期比 27 億 76 百万円減少し 28 億 70 百万円、四半期純利益は前年同期比 8 億 14 百万円減少し 26 億 25 百万円。

譲渡性預金を含む預金等残高は、環境変化への対応として利回りのコントロールに取り組んだ結果、一般店で引き続き増加する一方で、インターネット支店において減少し、前年同期末比 277 億円減少の 1 兆 3,608 億円。貸出金残高は、個人ローンを中心に前年同期末比 205 億円増加し 9,776 億円。

			番号	荘内銀行	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
【単体】	損益	経常収益	(15)	19,646 百万円	20,713 百万円	△ 1,067 百万円	△ 5.1 %
		業務純益	(16)	2,936 百万円	4,664 百万円	△ 1,728 百万円	△ 37.0 %
		コア業務純益	(17)	2,799 百万円	4,435 百万円	△ 1,635 百万円	△ 36.8 %
		経常利益	(18)	2,870 百万円	5,647 百万円	△ 2,776 百万円	△ 49.1 %
		四半期純利益	(19)	2,625 百万円	3,440 百万円	△ 814 百万円	△ 23.6 %
	主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(20)	13,608 億円	13,885 億円	△ 277 億円	△ 1.9 %
		貸出金	(21)	9,776 億円	9,571 億円	205 億円	2.1 %
		有価証券	(22)	5,085 億円	5,345 億円	△ 259 億円	△ 4.8 %
	自己資本比率	自己資本比率(国内基準)	(23)	10.06 %	10.31 %	△ 0.25 %	
	不良債権	金融再生法開示債権額	(24)	24,648 百万円	24,590 百万円	57 百万円	
総与信に占める割合		(25)	2.47 %	2.52 %	△ 0.05 %		

3. 北都銀行

平成 29 年 3 月期第 3 四半期（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日）単体業績

貸出金利息や有価証券関係損益が減少したことなどから、経常収益は前年同期比 19 億 26 百万円減少し 179 億 71 百万円、経常利益は前年同期比 31 億 95 百万円減少し 21 億 53 百万円、四半期純利益は前年同期比 27 億 86 百万円減少し 16 億 28 百万円。

譲渡性預金を含む預金等残高は、法人預金が増加した一方でインターネット支店において個人預金が減少したことなどから、前年同期末比 167 億円減少し 1 兆 2,785 億円。貸出金残高は、個人ローンが増加したものの地方公共団体向け貸出が減少したことなどから、前年同期末比 83 億円減少し 8,128 億円。

			番号	北都銀行	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率
【単体】	損益	経常収益	(26)	17,971 百万円	19,898 百万円	△ 1,926 百万円	△ 9.6 %
		業務純益	(27)	2,337 百万円	5,187 百万円	△ 2,850 百万円	△ 54.9 %
		コア業務純益	(28)	1,955 百万円	3,961 百万円	△ 2,005 百万円	△ 50.6 %
		経常利益	(29)	2,153 百万円	5,349 百万円	△ 3,195 百万円	△ 59.7 %
		四半期純利益	(30)	1,628 百万円	4,414 百万円	△ 2,786 百万円	△ 63.1 %
	主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(31)	12,785 億円	12,952 億円	△ 167 億円	△ 1.2 %
		貸出金	(32)	8,128 億円	8,211 億円	△ 83 億円	△ 1.0 %
		有価証券	(33)	4,686 億円	5,031 億円	△ 345 億円	△ 6.8 %
	自己資本比率	自己資本比率(国内基準)	(34)	11.85 %	12.17 %	△ 0.32 %	
	不良債権	金融再生法開示債権額	(35)	14,296 百万円	15,692 百万円	△ 1,395 百万円	
総与信に占める割合		(36)	1.73 %	1.88 %	△ 0.15 %		

以上

【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】

I R グループ 大石 (TEL:022-290-8800)、佐藤 (TEL:023-626-9006)、市田 (TEL:018-833-4211)